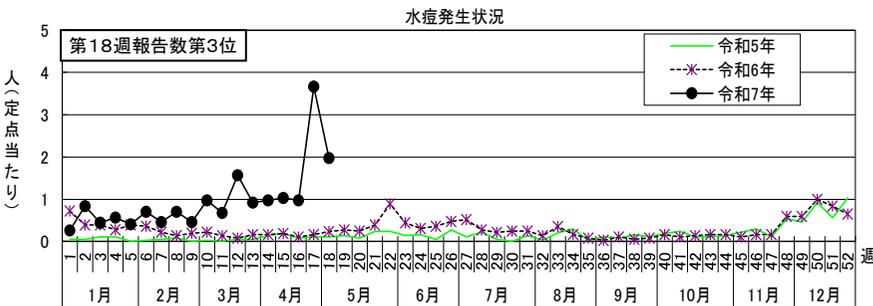
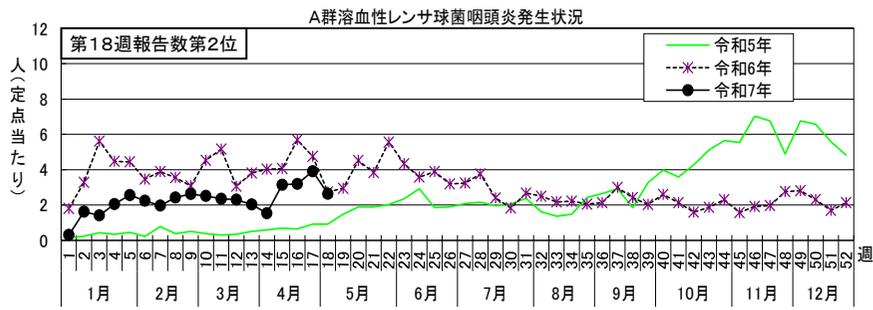
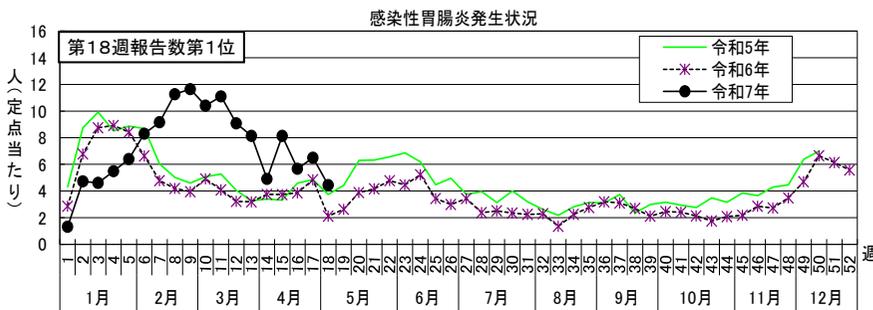


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年4月28日（月）～令和7年5月4日（日）〔令和7年第18週〕の感染症発生状況

第18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.44人と前週（6.50人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.64人と前週（3.92人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。  
 水痘の定点当たり患者報告数は1.97人と前週（3.67人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## 海外からの麻しんの輸入例が増えています！

麻しんは国内では排除状態にありますが、今年は2月中旬以降、海外で麻しんに感染し国内に持ち込まれた事例の報告が相次いでいます。麻しんに感染すると通常10～12日の潜伏期間を経て発症するため、流行地域から帰国した場合は2週間程度、体調の変化に注意が必要です。

麻しんは免疫のない方が感染するとほぼ100%発症し、重症化すると死亡することもあります。発熱や発しん等の疑わしい症状がみられた際は、医療機関に電話等で連絡をしてから受診しましょう。また、受診の際は、周囲の方に感染させないようにマスクを着用し、公共交通機関の利用を避けてください。

### 麻しんとは？

#### 【感染経路】

飛沫感染、接触感染、空気感染

#### 【潜伏期間】

10～12日（最長21日間程度）

#### 【症状】

発熱、咳、鼻汁、発しん、結膜充血等  
 ※ワクチン接種歴が1回のみ等、免疫が不十分な方は、軽症で典型的な症状がみられない場合があります。気が付かないまま感染源となることもあります。

#### 【合併症】

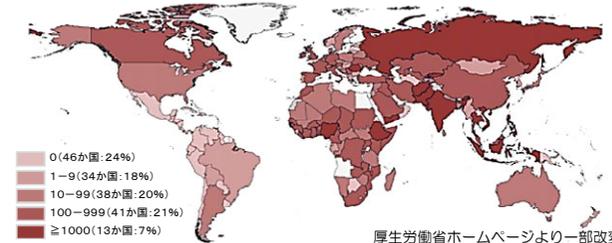
肺炎、中耳炎、脳炎

#### 【予防対策】

麻しん含有ワクチン（MRワクチン）の2回接種



世界における麻しんの報告数  
 (令和6年8月～令和7年1月)



国内における麻しん患者の推定感染地域別報告数(n=48)  
 — 令和7年第1週～令和7年第16週 —

- ベトナム：30例
  - タイ：3例
  - フィリピン：2例
  - パキスタン：1例
  - カンボディア/ラオス：1例
  - イタリア/フランス：1例
  - オランダ/ノルウェー：1例
  - 不明：9例
- (推定感染地域が「国外」及び「国内又は国外」の患者のみ)  
 国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査 (IDWR) 2025年第16週より